

このたびは、セキスイデザインワークス(株)製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
製品到着後、速やかに検品をお願いいたします。本体に傷や付属品等の不備がございましたら、製品到着後10日以内にご連絡ください。

施工は必ずこの説明書に従い、専門業者が正しく施工を行なってください。

お使いになる方やその他の方への危害、損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

お守りいただく内容をマークで区分し、説明しています。マークの意味は次の通りです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制・指示する内容があることを告げるものです。



警告

死亡または重傷を負うおそれのある内容です。

- 仕様変更・改造は絶対にしないでください。



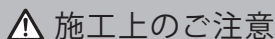
分解禁止

ケガの発生や事故のおそれがあります。
(変更、改造、分解された場合は製品の保証を致しかねます。)

- 製品の施工は、施工説明書に従い確実に行ってください。



製品・部材の落下などによるケガのおそれがあります。



施工上のご注意

重傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容です。

- 基礎工事に関して当社規定以上の寸法にて工事を行ってください。



現場の地盤の状況によって(軟弱地盤等)は、コンクリートの基礎寸法(埋込深さ・幅)を十分考慮し行ってください。

- 通行の妨げとなる場所、危険な高さおよび極端に高い所や低い所、製品の本体下部・扉や蓋に頭が当たるような場所や高さには設置しないで下さい。扉や蓋のある部材を設置する場合には取出しスペースを十分にとって下さい。



ケガの発生や事故のおそれがあります。



扉や蓋の開閉操作が十分に行える場所に設置してください。
ケガの発生や事故および落下するおそれがあります。

- 工事には保護用手袋を着用して作業して下さい。

- 本製品に部材(ポスト・表札・照明等・・・)を取り付ける際は、適切な工具・防具を使用し、締め過ぎにご注意下さい。電動ドライバーをご使用の際は低速回転で締め付け下さい。

- 本製品に部材(ポスト・表札・照明等・・・)を取り付ける際は、ビス有効範囲内にビスをうち、部材を取り付けて下さい。



部材が落下するおそれがあります。

- 電気工事が必要な場合は、法令等に従って有資格者が行ってください。



無資格者の工事は法律で禁止されています。

- 固いものを当てたり、強い衝撃を与えないで下さい。



故障の原因になります。
また、表面にキズをつけますと腐食の原因になります。

- 製品にぶらさがらないでください。



ケガの発生や事故のおそれがあります。

- モルタル急結剤、海砂は使用しないでください。



ステンレス、アルミ、スチールの腐食促進作用があります。

- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。



シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因となります。

- 内装・外装工事がある場合には、製品の養生をおこなって下さい。



リシンなどの塗料がかかると、塗装がはがれたり、変色の原因となります。

- 製品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃して下さい。



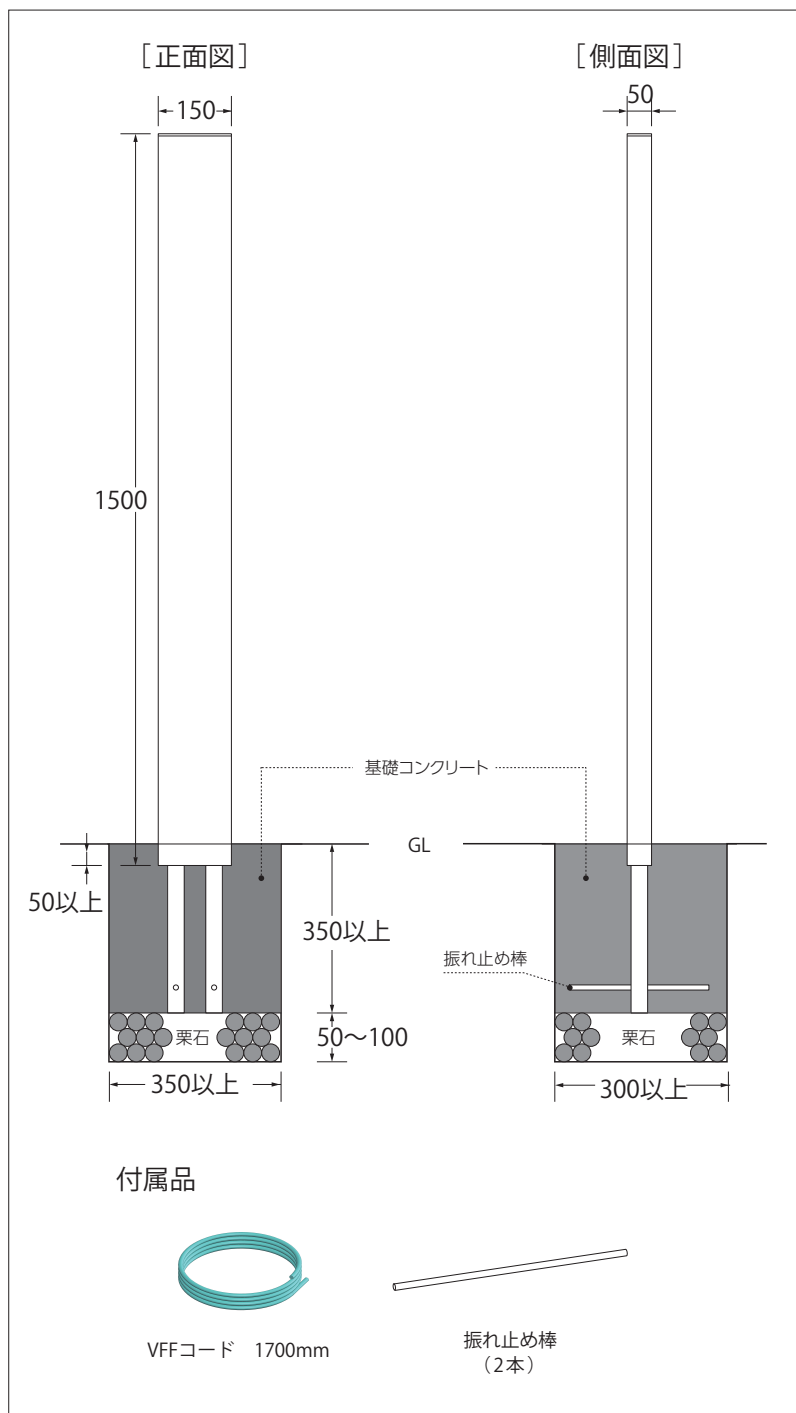
塗装がはがれたり、腐食の原因になります。

- 端部や角で手を強く擦ると、思わぬケガをする場合がございますのでご注意下さい。

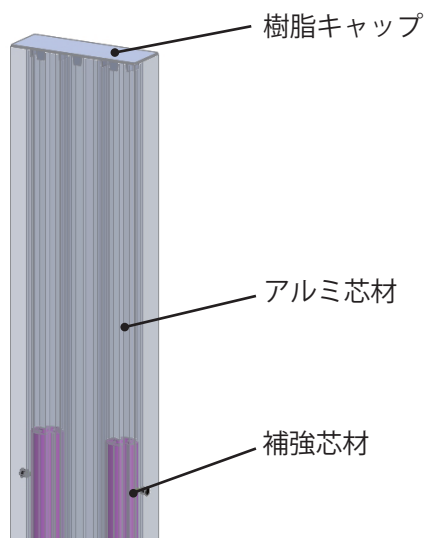
施工後の確認

- 各部のネジのゆるみがないか確認してください。
- 不具合、ガタツキ等がないか確認してください。

寸法図および製品仕様



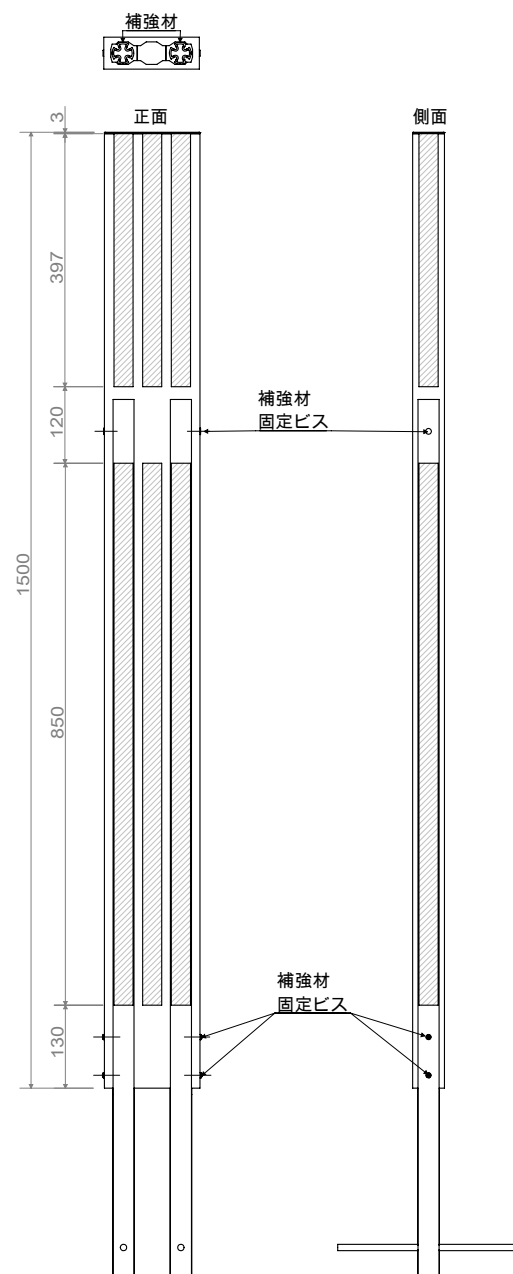
支柱の 内部構造



設置方法

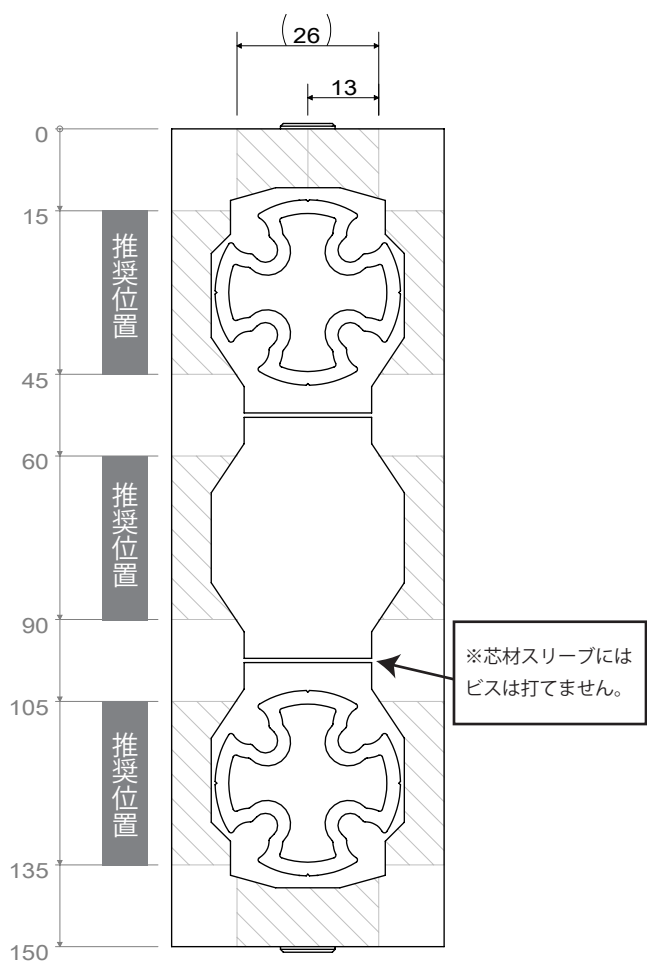
- 1 照明など電気配線が必要な場合は、左図の規定に基づいて配線穴を開けVFFコードを通して下さい。
※FP管は付属しておりません。お客様ご用意になります。
※結線等の作業には資格が必要です。
必ず電気工事士の資格所有者が作業を行ってください。
- 2 付属の【振れ止め棒】を門柱本体下部に取り付けます。
- 3 W350mm以上、深さ400mm以上の穴を掘り、そのなかに栗石を50mm以上敷き、水平器で本体の水平・垂直を確認し、本体を設置しコンクリートを流し込んでください。
※基礎寸法は地盤の状況を考慮し、十分にご検討ください。
- 4 コンクリート養生後、表札等を取付けます。
※門柱本体は基礎コンクリートに50mm以上埋込むようにして下さい。
※躯体へビスを打ち込む場合、ビスが効く範囲を別紙(ビス留め推奨位置図)にて確認して作業してください。

ビス有効範囲説明図 (□ ビス有効箇所、■ 推奨位置は別紙参照)



ビス留め推奨位置図

本製品に使用している人工木材の構造は、内部：アルミ材、外部：硬質発泡ウレタン樹脂となっております。ビスを硬質発泡ウレタン樹脂へ打ち込んだ場合、ビスが止まらず、ビスが抜けてしまう可能性があります。下記を参考に内部のアルミ芯材のある個所にしっかり打ち込んでください。



人工木材は、硬質発泡ウレタン樹脂でできているため、1枚ごとに微妙にサイズが異なります。そのため、ビス位置を決める時は、人工木材の一枚ごと端から寸法出しを行ってください。

